

4年生

★ 私は、分散登校の時に学校に行けてとてもうれしかったです。でも朝、起きられるか心配でした。もし、学校におくれたらどうしようと思っていました。休み時間では、みんなと楽しく遊べてとても楽しかったです。学校に行けるようになってよかったです。



★ ぼくは休業中、「早く学校が始まらないのかなあ。コロナはいつになったら終わるのかなあー。」と思いました。分散登校の時は、「みんな、いるのかなあ。」と思いました。学校が始まった時は、「南小の人がコロナにならなくてよかった。」と思ったし、みんなで楽しくサッカーやドロケイができてうれしかったです。休業中はみんなと遊びたかったので、遊べて本当にうれしかったです。

★ ぼくは、休業中、「早くコロナウィルスがおさまらないかな。」「早く友だちと遊びたいな。」などと、いろいろな気持ちでいっぱいでした。3か月の月日が流れ、待ちに待った学校生活が始まりました。マスクをしたままの登校はつらかったです。3か月分の勉強をするのは大変ですが、本当だったらやっていた勉強に早く追いつきたいです。本当に学校が再開してよかったです。

★ 休業中、ぼくは「学校に行きて〜。」と言っていました。休みの間は、ゲームしかやっていたくてたいくつでした。分散登校の時は「ヤッター、学校に行ける。」と言って、とてもうれしかったです。でも、ぼくはちよっぴりきんちょうしましたが、みんなと楽しく授業ができました。今の気持ちは、「やっといつもの学校生活にもどった。」と思ったけれど、友達と話すときはマスクをつけたり、間かくをあけて話すので、けっこう話しぶりです。もう一つ、プロ野球がまだ開まくしていないのでショックです。【6月19日 開幕】

★ 私は、休業中は弟と妹と遊んでいました。でも、「弟や妹よりも友だちと遊びたいな。」「早く学校が始まらないかな。」と思っていました。分散登校の時は、もうちよつと家で休んでいたいなと思いましたが、友だちと会うとうれしい気持ちでいっぱいでした。再開して、マスクは外せないし密集しないように気をつけなければいけない大変だけど、がんばろうと思います。

5年生

★ 3月から5月まで、友だちと会えなくてとてもさびしかったです。分散登校の時はとてもうれしかったです。久しぶりに友だちや新しい先生に会えました。校庭で友だちや先生と思いきり遊びました。楽しかったです。これからはソーシャル・ディスタンスを守ってマスクをします。



★ 家では、弟と課題をやったりカードゲームやサッカーで遊んだりしました。弟が1年生になったので、一緒に行くのが楽しみで、早く学校が始まるとういなと思っていました。まだ、いつも通りの生活ができないことも少しあるので、早く今までの生活にもどれるように全員で協力して生活をしたいと思います。栃木県は、今落ち着いてきているので、このまま少しずつ生活をもうとしたいと思います。

★ 休業中は、自分がいつも行っている学校ではないという和感を感じました。不安な気持ちでした。分散登校の時は、きん張してしまったりしたけれど、久しぶりに会えてうれしかったです。再開して不安な気持ちとうれしい気持ちです。これからは、感染予防を心がけて、新型コロナウイルスに感染しないように意識したいです。

★ 休業中は、家でうさぎの世話をしたり弟と遊んだりしていました。また午前と午後に宿題をしました。分散登校の時は、感染しないかなと少し心配するところがありました。新型コロナウイルス感染しようにかからないように、手洗いうがい・マスク着用をしたいと思います。再開してみんなに会えてうれしいので、学校がまた休校にならないようにしたいです。

★ 私が分散登校で思ったことは、「またみんなとふつうの生活が送れる！」ということです。特に一番の友だちと会えて楽しいことができるのがうれしかったです。私が休みの時にやっていたことはユーチューブを見ることでした。自分が好きなものを見ながら、友だちのことをずっと考えていました。私は学校に着いたとたん、教室までもうダッシュしていきました。登校する前は行きたくないなどと、思っていた自分がうそみたいでした。自分でもなんで走ったのかわかりませんでした。たぶん学校に着いたとたん自分の気持ちが変わって、友だちや先生に会いたくなっただけだと思います。今までとはちよつとちがうけれど、ふつうの学校生活を送れて楽しいです。

6年生

★ 休校中は、じゃがいも作り、ネギ作り、米作りをしました。またいろいろな教科の予習と復習を自主学习としてやりました。分散登校でみんなに会えた時は、とてもうれしかったです。学校が再開すると、今までできなかった授業や休み時間が始まりました。給食は、家とはちがって前の給食と同じ味で、とてもおいしかったです。休み時間もみんなと鉄棒で遊びました。楽しすぎてまめがつぶれました。



★ 初め学校が休みになった時、うれしかったです。けれど1か月もたないうちに、いろいろな気持ちが出てきました。友達と話したり、遊んだりできない苦しさ。習っていないところが課題になり、習ったことになったままだんどん進んでいく不安。外遊びができなくて体力が落ちてしまう不安。自分にとってあまり良くない休みでした。けれど、デメリットだけではなく、今まで以上に家族との会話が多くなったというメリットもありました。分散登校でクラスのみんなや先生に会えてうれしかったです。なつかしいような、今まで通りになった感じがして、休み中の「苦しさ」や「不安」がなくなりました。学校は再開しましたが、今まで通りの生活ができませんが、とにかく楽しいです。勉強も運動も、ほぼ今まで通りできています。休みに家で勉強した内容が、しっかり頭の中に入っているんじゃないかなあとたまに思います。前とはちがうけれど、楽しい学校生活が始まって良かったと思います。

★ 休業中は、勉強の予習、運動、料理をしていました。運動は、学区内の祖父母の家まで走りに行ったり、散歩の帰りに近所の鉄棒で技を練習したりしました。分散登校の時、友達に会えた時はうれしかったです。休業中のことを話したりたくさん笑ったりして楽しかったです。家族と遊んだくらい、友達と遊ぶのも楽しいです。得意教科の音楽が今までどおりできないのは、少し残念だけれど、「しょうがない！」と考えて、前向きにがんばりたいと思います。これから何が起こるかかわからないけれど自分らしくがんばりたいです。いろいろなことにチャレンジしたいと思います。

★ 学校再開、ぼくはとてもうれしいです。なぜかという3か月間の間、何をすればいいかわからなかったからです。いくら規則正しい生活を送ろうとしても、あまりよくない生活になってしまいます。学校が再開して規則正しい生活にもどりそうです。今、みんな一人一人が感染に気をつけていることが、見ていてわかりました。ぼく達6年生は最後の1年です。今年には新型コロナウイルス感染症が流行しています。最高の思い出を作るためには、3つの密をつくらないようにしつつとてもいい思い出を作りたいです。

★ 休校中、友達と会えなかったのが、スーパーとかで会ったらとてもうれしかったです。でも、ソーシャル・ディスタンスを守らないといけないので、話せないのは少しさびしかったです。学校で友達と会った時は、「本物の友達だ！」と思いました。学校が始まって私は、「みんなと話さないのって、こんなにつらいんだ。」と思いました。だから、仲間や友達って、本当に大切に良い存在だということを、この休校中にコロナウィルスに教えられました。

★ 6月1日に学校が再開して、友達や先生の大切さを分かりました。休校中はダラダラと、頭がぼかんとしていてとてもつまらなかったです。友達といろいろなことをしたり、おしゃべりをしたり、先生の授業などを受けて一日一日が楽しいです。土日なども学校に行つて友だちと会いたくなります。去年までは学校へ行きたくない、思ったことがたくさんありました。今は、毎日学校へ行きたいと思っています。まだ、禁止されていることがあるけれど、こういうことがあるからこそ、友達や先生の大切さが分かったのかもしれない。感染者が増えているので気をつけたいです。

分散登校から学校再開後の本日6月19日までの南小学校における子どもたちから、落ち着きと巨大なエネルギーを強く感じます。3か月の空白を全く感じさせません。なぜでしょうか？ここに掲載した子どもたちの思いや願いから、その理由がおわかりいただけたかと。

次号「大地の子」の「チーム南小 職員紹介 No.4」で、『タナー先生』を紹介します。乞うご期待。